

第3章

住民意向の把握

3-1 住民意識調査の結果

第3章 住民意向の把握

3-1 住民意識調査の結果

(1) 調査概要

住民意識調査の概要は次のとおりです。

<住民意識調査の実施概要>

| | |
|------|---|
| 調査目的 | 都市計画マスタープランの改定にあたり、将来のまちづくりや土地利用に関する住民意向を把握し、計画に反映することを目的に調査を実施 |
| 調査対象 | 町民 2,000 人（20 歳以上を無作為抽出） |
| 調査方法 | 郵送（配布・回収）によるアンケート調査 |
| 調査期間 | 令和元年（2019年）8月9日（金）～8月31日（土） |
| 回収率 | 40.9%（817/2,000） |
| 調査項目 | I. 属性 II. まちづくりの満足度・重要度について III. まちの将来像について IV. 将来の土地利用・都市施設について V. コンパクトなまちづくりについて VI. 知多半島中央部に位置する町の立地特性を活かしたまちづくりについて VII. まちづくりへの参加について VIII. 自由意見 |

<住民意識調査票(アンケート調査票)>

阿久比町都市計画マスタープラン アンケート調査票

I あなたご自身のことについて

問1 あなたご自身のことについて、あてはまる番号に○印をつけてください。

| | | | |
|---|---------------------|--------------|------------|
| (1)あなたの性別 (1つに○) | 1. 男性 | 2. 女性 | |
| (2)あなたの年齢 (1つに○) | 1. 20代 | 4. 50代 | |
| | 2. 30代 | 5. 60代 | |
| | 3. 40代 | 6. 70歳以上 | |
| (3)あなたの家族構成 (1つに○) | 1. ひとり暮らし(単身) | | |
| | 2. 夫婦のみ | | |
| | 3. 2世代世帯(親と子) | | |
| | 4. 3世代世帯(祖父母・親・子・孫) | | |
| | 5. その他() | | |
| (4)同居されている家族 (あてはまるものをすべてに○) ※(3)で3,4,5を選択した方のみご回答下さい | 1. 3歳未満の乳幼児 | 4. 高校生 | |
| | 2. 幼稚園児・保育園児 | 5. 大学生・専門学校生 | |
| | 3. 小学生・中学生 | 6. 65歳以上の高齢者 | |
| | | | |
| (5)あなたの居住地 (1つに○) | 1. 横松 | 9. 白沢 | 17. 棕岡 |
| | 2. 萩 | 10. 白沢台 | 18. 矢口 |
| | 3. 宮津 | 11. 高根台 | 19. 高岡 |
| | 4. 宮津団地 | 12. 草木 | 20. 藪 |
| | 5. 宮津山田 | 13. 坂部 | 21. 大古根 |
| | 6. 板山 | 14. 卯之山 | 22. メイツ賢ヶ丘 |
| | 7. 福住 | 15. 阿久比団地 | 23. 鷹なだの丘 |
| | 8. 福住園高台 | 16. 阿久比 | |

II まちづくりの満足度・重要度について

問2 町が取り組んでいるまちづくりの「満足度」と「重要度」をおたずねします。

① 下記の項目について、現在の満足度を教えてください。あてはまる番号1つに○印をつけてください。

② 下記の項目について、今後の重要度を教えてください。あてはまる番号1つに○印をつけてください。

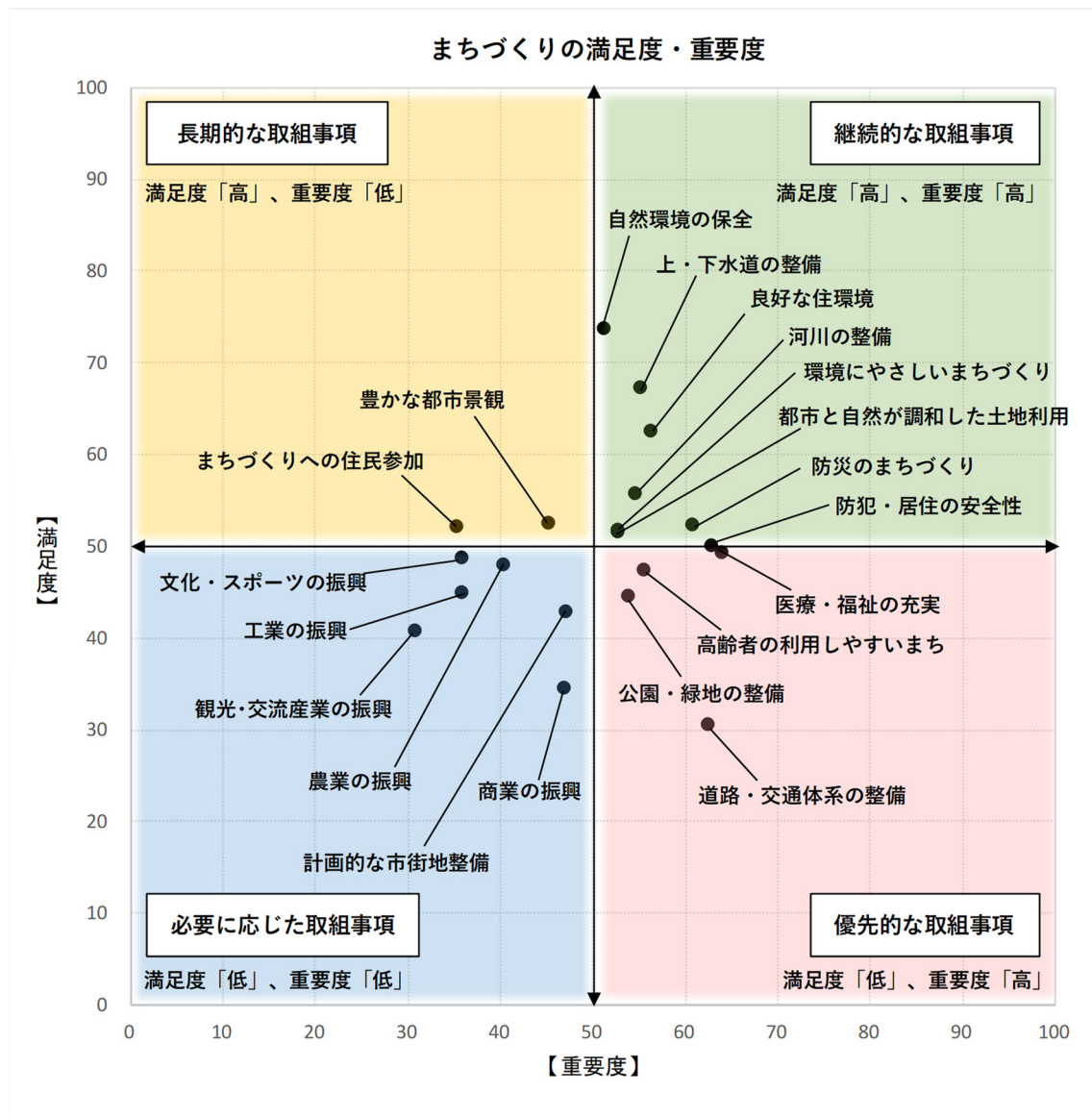
| 項目 | ①満足度 | | | | | ②重要度 | | | | | |
|---|------|---|---|---|---|------|---|---|---|---|---|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 1. 都市と自然の調和が図られた土地利用の推進 計画的な住宅や商業、工業などの土地利用の推進 等 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 良好な住環境の形成 優良な住宅地の形成、緑豊かな住環境の保全 等 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 豊かな都市景観の形成 美しい街並みの形成や緑土景観の保全 等 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 計画的な市街地の整備 土地の適正な利用の推進 等 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. 豊かな自然環境の保全 ホテルの生態系など、既存の自然環境の保全 等 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. 公園・緑地の整備 身近な公園の整備、緑地の保全 等 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. 道路・交通体系の整備 生活道路や幹線道路の整備 等 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. 上・下水道の整備 水道施設の整備、公共下水道の整備 等 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9. 河川の整備 河川・水路の整備、水害対策の充実 等 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10. 環境にやさしいまちづくり バス利用の促進や緑化の推進など、CO ₂ の排出削減 等 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

(2)調査結果(抜粋)

◆『まちづくりに対する満足度・重要度について』

これまでのまちづくりに対する満足度と今後期待するもの（重要度）は次のとおりです。

- ◇ 『優先的な取組事項』：都市基盤や生活環境に対する取り組み
- ◇ 『継続的な取組事項』：自然環境や防災・防犯に対する取り組み
- ◇ 『必要に応じた取組事項』：産業振興に対する取り組み
- ◇ 『長期的な取組事項』：景観や協働に対する取り組み

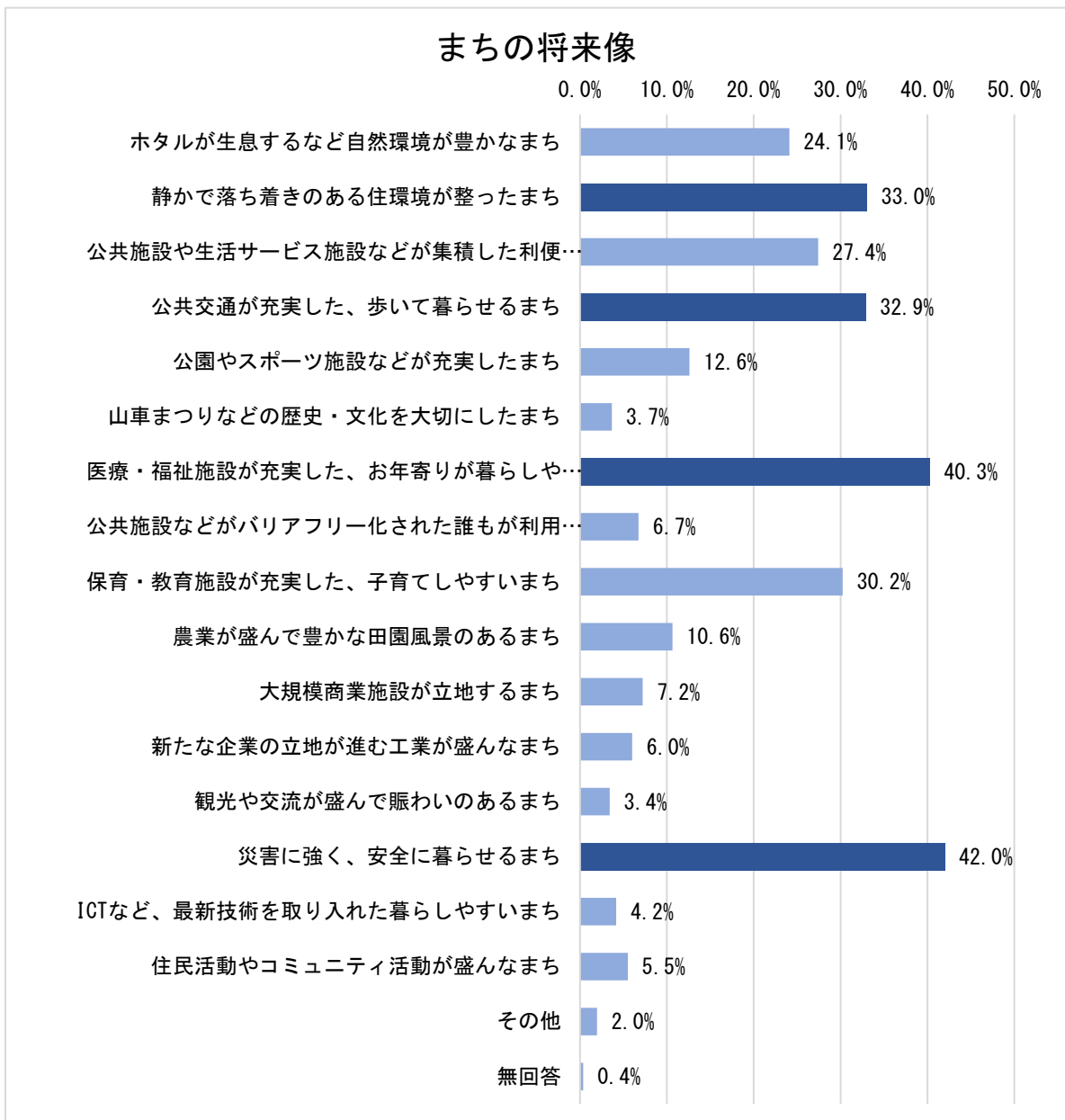


※「満足度」と「重要度」の回答を点数化し、平均得点を偏差値として示したもの。
 「満足」5点、「どちらかといえば満足」4点、「どちらともいえない」3点、「どちらかといえば不満」2点、「不満」1点とし、その合計値を回答者数で除したものを平均点とする。

◆まちの将来像について

これからのまちの将来像として、以下の事項が求められています。

- ◇ 「災害に強く安全に暮らせるまち」
- ◇ 「医療・福祉施設が充実したお年寄りが暮らしやすいまち」
- ◇ 「静かで落ち着きのある住環境が整ったまち」
- ◇ 「公共交通が充実した、歩いて暮らせるまち」



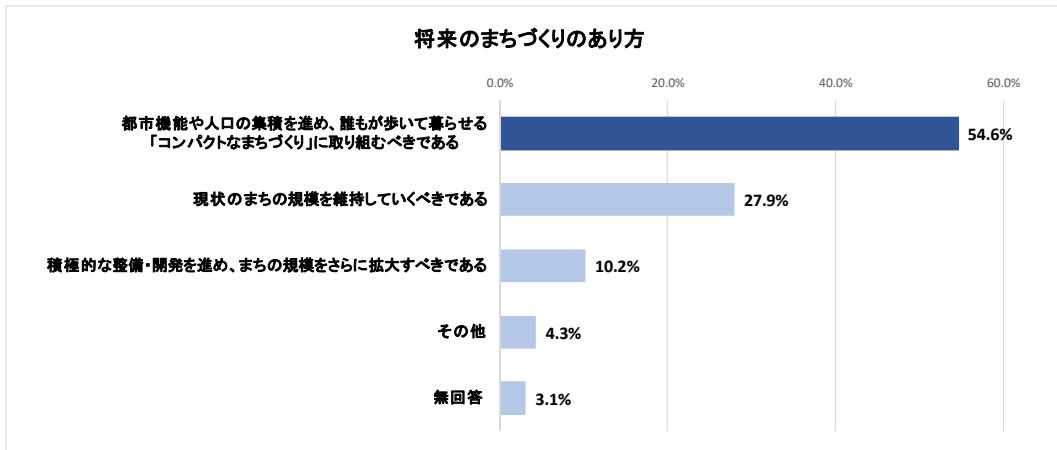
◆将来の土地利用・都市施設について

将来の土地利用・都市施設について、それぞれ以下の取り組みが求められています。

| | |
|--------------------|--|
| 「住宅地」 における取組 | 【1位】既存住宅地の防災安全性向上（45.0%） 【2位】既存住宅地の居住環境の維持・改善（40.1%） 【3位】空き家などの解消・有効利用の推進（31.7%） |
| 「商業振興」 における取組 | 【1位】居住地周辺の身近な商業施設の充実（38.9%） 【2位】車での利用に便利な幹線道路沿いの商業施設の充実（38.8%） 【3位】名鉄河和線阿久比駅や阿久比町役場周辺の商業の活性化（38.6%） |
| 「工業振興」 における取組 | 【1位】新たな工業用地の創出（49.1%） 【2位】既存企業の育成・振興（31.0%） 【3位】既存工業団地の操業環境の維持・保全（29.7%） |
| 「農業振興」 における取組 | 【1位】担い手育成や民間参入による耕作放棄地の解消（41.2%） 【2位】農産物のブランド化など農業活性化に向けた取り組みの推進（26.7%） 【3位】食料生産や教育の場としての農地の維持・保全（24.5%） |
| 「道路・交通」 における取組 | 【1位】安心して歩ける歩道の整備（53.1%） 【2位】狭あい道路の拡幅など生活道路の整備・改善（38.8%） 【3位】広域的な幹線道路の整備（21.4%） |
| 「公園・緑地」 における取組 | 【1位】災害時の避難場所・活動拠点となる公園の整備（44.6%） 【2位】子供が遊べる身近な公園の整備（41.7%） 【3位】既存の公園・緑地の維持・管理（37.6%） |
| 「河川・下水道」 における取組 | 【1位】災害に強い河川・水路の整備（45.4%） 【2位】老朽化した下水道施設の計画的な改修（37.9%） 【3位】自然豊かな水辺環境の保全（23.1%） |
| 「景観」 における取組 | 【1位】阿久比川兩岸の優良な田園風景の保全（39.3%） 【2位】良好な住宅地の景観の形成・向上（36.5%） 【3位】名鉄河和線阿久比駅や阿久比町役場周辺の街並み・景観の形成（31.7%） |
| 「防災対策」 における取組 | 【1位】災害時における一時避難場所や避難路の確保・整備（57.8%） 【2位】道路や橋などの都市基盤施設の耐震化（35.0%） 【3位】河川の氾濫・浸水対策（30.8%） |

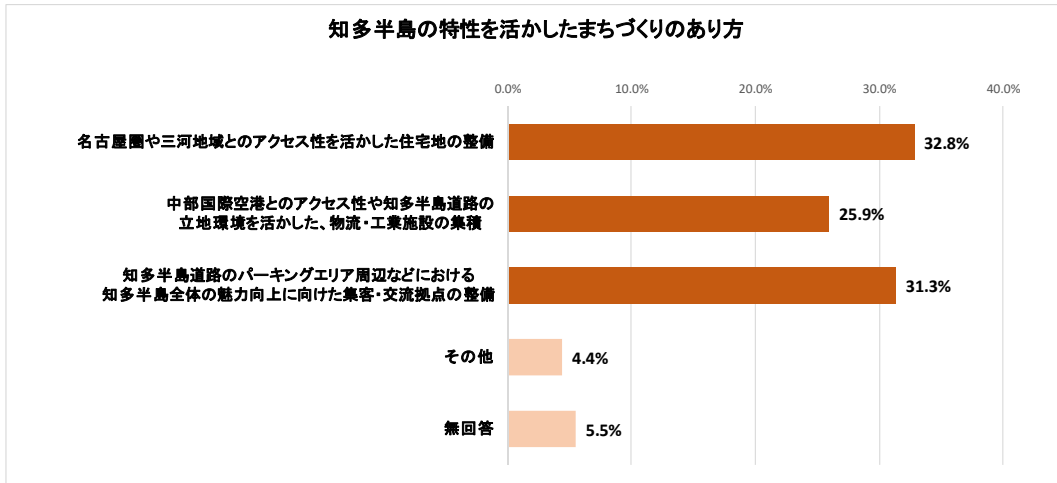
◆コンパクトなまちづくりについて

今後のまちづくりのあり方として、多くの住民が「コンパクトなまちづくり」を求めています。



◆町の立地特性を活かしたまちづくりについて

町の立地特性を活かしたまちづくりのあり方について、「住宅地の整備」、「集客・交流施設の整備」、「物流・工業施設の集積」それぞれ同程度の割合となっています。



◆住民のまちづくりへの参加について

以下の内容について、まちづくりへの参画意向が高くなっています。

- ◇ 自主防災や災害援助に関する活動
- ◇ まちづくりや地域活性化に関するイベント

